

# 競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2016年度日本陸上競技連盟競技規則による。
2. ナンバーカード 個人ナンバーカード(男女赤字)を胸背部につける。ただし、跳躍競技は、胸背いずれかでもよい。トラック競技に出場する選手(リレーの1~3走者を除く)は全員腰ナンバー(大会本部で用意する)を右腰後方に付ける。
3. 招 集 ○競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。  
○トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技(棒高跳を除く)は30分前、棒高跳は60分前を招集時刻とする。  
○代理人は認めない。  
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。  
○四種競技の第一種目の招集については、他の種目と同じ手順で招集を行うが、第二種目以降の招集については現地において招集時刻の5分前に行う。  
○招集所は、補助競技場南側出入口側のテントとする。(東部会場)  
招集所は、100mスタート地点外側のテントとする。(西部会場)
4. 練 習 場 ウォーミングアップ場は、東部会場は「補助競技場」、西部会場は「多目的広場」のみとする。
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。但し、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. トラック競技 ○タイムレースとし決勝は行わない。同組、別組とも同記録は同順位とする。  
○短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
7. フィールド競技 走幅跳、砲丸投は3回試技とし、トップ8は行わない。
8. ユニフォーム リレー競技に出場の場合、ランシャツ(ベスト)は同一ユニフォームとする。
9. バーの上げ方  
男子走高跳 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 以後3cm  
男子四種走高跳 135 140 145 150 155 160 165 170 173 以後3cm  
男子棒高跳 280 300 320 以後10cm  
女子走高跳 120 125 130 135 140 145 150 155 157 以後2cm  
女子四種走高跳 115 120 125 130 135 140 145 148 以後3cm  
女子棒高跳 150 170 190 以後10cm  
※当日変更することがある
10. ス パ イ ク
11. 表 彰 トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。  
各種目の1~8位に賞状を授与する。  
※種目別の表彰は行わない。競技終了後、顧問が速やかに当日指定した場所まで受け取りに来ること。
12. そ の 他 ○本大会において四種競技の全国大会の標準記録を突破した選手は、四種競技の全国大会への出場権を得る。  
○当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。  
○当日の選手の変更は一切認めない。  
○競技する選手以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。  
○更衣室使用は認める。更衣のみとし、ロッカー等には貴重品・衣類等は置かない。  
○空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。  
○「テント」はスタンドの上段に設営すること。「のぼり」はスタンドの最上段の手すりのみ設置可。  
○東部会場の大型表示板前に「テント」「タープ」「のぼり」等の設置を禁止する。  
○メインスタンドでの集団応援は禁止する。  
○中学生は携帯電話を競技技場内では原則として使用しないこと。  
○トランシーバーを使用する場合、本部で使用する7・8・9・10チャンネルの使用を禁止する。

# 選手注意事項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。なお、リレーに出場する選手は下の注意事項も守って下さい。



注意1 四種競技について 一種目目の招集の手順は、他の種目と同様、上記の通り行う。  
二種目目以降の招集は、直接現地にて招集時刻5分前より行う。  
二種目目以降のトラック競技においては、出発係より腰ナンバーカードを受け取り、速やかに右腰斜め後方につけること。

注意2 リレーについて 招集は4人そろって他の種目と同様、上記の通り行う。  
なお、オーダーは午前中に招集所で走順を記入すること。招集時刻の1時間前までは変更可能とする。